

令和6年度「心のバリアフリー地域拠点校」としての取り組み

令和6年10月8日
我孫子市立新木小学校

○認知症サポーター養成講座



9月17日に、湖北・新木地区社会福祉協議会の方々のご協力をいただき、認知症サポーター養成講座を行いました。対象学年は6年生です。この講座は、認知症について必要な知識を学び、基本的な理解を深めて、日常生活に必要な対応の仕方や相談窓口を知り、早めの相談や、地域で出来ることを考えるきっかけになるものです。6年生として認知症について正しい知識を持ち、偏見や誤解をなくすとともに、認知症の人やご家族をサポートする人を目指して学習できました。学習後には一人一人、お礼の感想を書き、後日、協議会の方々へ渡しました。

○高齢者疑似体験



9月18日に、5年生が「高齢者疑似体験」を行いました。湖北・新木地区社会福祉協議会の方々のご協力をいただき、3つの疑似体験をしました。この学習を通して、福祉教育の目的を理解し、思いやりの心を育むきっかけとなりました。

○あすチャレ!!ジュニアアカデミー



10月2日に、5年生が「あすチャレ!!ジュニアアカデミー」(主催:日本財団パラスポーツサポートセンター)というプログラムに取り組みました。このプログラムは「チガイを認識し、聞き、共生社会への一歩を踏み出すワークショップ型授業」です(ホームページ <https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/jracademy/>より抜粋)。人との違いを認め、他者を受け入れること、その大切さを学びました。また、障がいがある・ないに関わらず、多くの人を思いやり、支え合える社会を作ることが大切だと、多くの子どもたちが気づきました。

【今後の予定】

○ボッチャ体験学習

○我孫子特別支援学校との交流 等